

○「担い手の状況把握し図面作成へ」

(京都府宮津市 日置地区連絡会議)(平成31年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年7月2日(火) 13:00~15:30
- 場 所: 宮津市日置地区集会所
- 出 席 者: 吉田委員、田中推進委員
事務局2人
※委員2人、委員以外2人
- 報 告 者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 日置地区 法人2社と担い手農家3戸により、ハウス栽培、水稻を中心に営農されている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 現状の情報交換(組合や担い手の状況を把握し、耕作図面を作成)
 - ・日置地区水田面積は45ha
 - ・法人 経営拡大が難しい(耕地4ha)
 - 担い手A 規模拡大難しい
 - 担い手B スマート農業補助申請中(耕地6ha、10haが限度)
 - 浜地区機械共同組合(トラクター、田植機、コンバイン、乾燥機)
 - 内垣利用組合(乾燥機)、 桑田協同組合(刈り取り、乾燥機)
- 農業懇談会の事前調整(アンケート結果の検討や、組織のあり方を検討する)



4 活動結果

- 情報・意見交換 2.5 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援